

📍 SBT中小企業版 認証取得 (2024年10月)

# 科学的根拠に基づき、 未来に責任を持つ ものづくりへ

当社は2024年10月、SBT (Science Based Targets)  
中小企業版の認証を取得しました。  
2030年までにScope1+Scope2のCO<sub>2</sub>排出量を42%削減する  
目標のもと、科学的根拠に基づく環境経営を推進しています。

SBT認証について →

情報開示を見る

スクロール





42%

CO<sub>2</sub>削減目標（2030年）  
Scope1+Scope2



2024

SBT認証取得年  
中小企業版



1.5°C

パリ協定整合目標  
地球温暖化抑制



2022

基準年度  
GHG排出量比較基準

#### WHY SBT

## なぜ、SBTに 取り組むのか


製造業は、社会を支える一方で、エネルギー使用やCO<sub>2</sub>排出と正面から向き合う責任があります。

当社はこれまで、品質・安全・環境を重視したものづくりを続けてきました。SBTへの取り組みは、その延長線上にあるものです。

感覚的・努力目標ではなく、数値で把握し、科学的に評価される目標を掲げる。企業として「逃げない姿勢」を明確にする——それが、当社の選択です。

[詳しく見る →](#)



 GHG削減目標

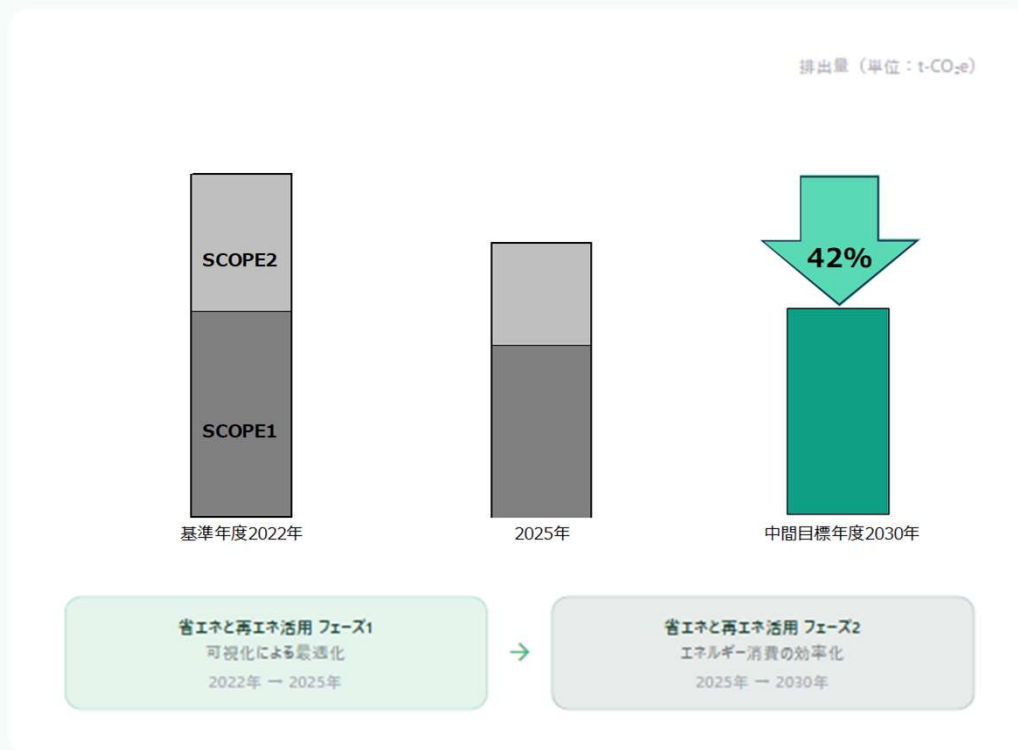
42%

2030年までにScope1+Scope2削減  
(2022年度比)

## GHG REDUCTION ROADMAP

# CO<sub>2</sub>削減への取組み・GHG削減目標

省エネと再エネ活用の2フェーズアプローチにより、  
2030年までに2022年度比42%のGHG削減を目指します。



### 2030年 中間目標

42% 削減

2022年度比でScope1 + Scope2の温室効果ガス排出量を42%削減

### 1.5°C水準達成

SBTi基準において最も厳しい1.5°C水準は、年間4.2%以上の削減が必要です。当社の目標はこの水準に整合しています。

[科学的根拠を確認する](#) →

### 出典

GHG削減目標は、SBTi Criteria and Recommendations Version 5.0および環境省ガイドラインに準拠して算定・設定しています。

## OUR ACTIONS

# 具体的な取り組み内容

当社では、以下のような活動を通じて「見える化 → 改善 → 継続」を実行しています。



### 見える化

温室効果ガス（GHG）の定期的な把握と排出量データの透明な開示を推進しています。




### 改善

エネルギー使用量の管理と効率化、生産プロセスの見直しによるロス削減を実施しています。



### 継続

社員一人ひとりの環境意識向上と、科学的根拠に基づく目標達成に向けた継続的な行動を続けます。



Science Based Targets

# SBT認証について

当社が取得したSBT（Science Based Targets）中小企業版認証について、その概要と意義  
をご説明します。

## CERTIFICATION

# 認証取得のお知らせ

当社は、**2024年10月**、SBT（Science Based Targets：科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標）中小企業版の認証を取得しました。

これは、当社が掲げる温室効果ガス削減目標が、パリ協定で示された「**地球温暖化を1.5°C以内に抑える**」国際目標と整合していると、Science Based Targets initiativeにより認められたことを意味します。

2030年までに、**Scope1+Scope2のCO<sub>2</sub>排出量を2022年度比42%削減**する目標のもと、科学的根拠に基づいた環境経営を推進しています。

### 認証機関

Science Based Targets initiative (SBTi)  
CDP・UNGC・WRI・WWFが共同運営する国際イニシアティブ

認証種別  
SBT中小企業版（SME版）

認証取得日  
2024年10月

基準年度  
2022年度

目標年度  
2030年

削減目標  
Scope1+Scope2 42%削減

整合目標  
1.5°C目標（パリ協定）

OFFICIAL CERTIFICATION

## SBTiロゴ・認証掲載

当社の認証情報はSBTi（Science Based Targets initiative）の公式ウェブサイトに掲載されています。SBTiは認証時に認定書の発行がないため、この公式掲載が認証の証明となります。

### SBTiロゴおよび公式認証掲載

左のSBTiロゴ（SCIENCE BASED TARGETS）は、当社がSBTi認証取得企業として公式に使用が認められているロゴです。ロゴには使用基準があり、適切に管理・使用しています。

右の画面はSBTi公式サイトにおける当社（TOWA CO.,LTD.）の認証掲載ページです。「TARGETS SET」のバッジとともに、認証内容・削減目標・対象年度が公式に記録されています。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

掲載名称	TOWA CO.,LTD.
地域	Japan, Asia
認証ステータス	TARGETS SET
企業区分	SME（中小企業）
セクター	Electrical Equipment and Machinery
気温整合目標	1.5°C
基準年	2022年
目標年	2030年
掲載日	2024年10月24日

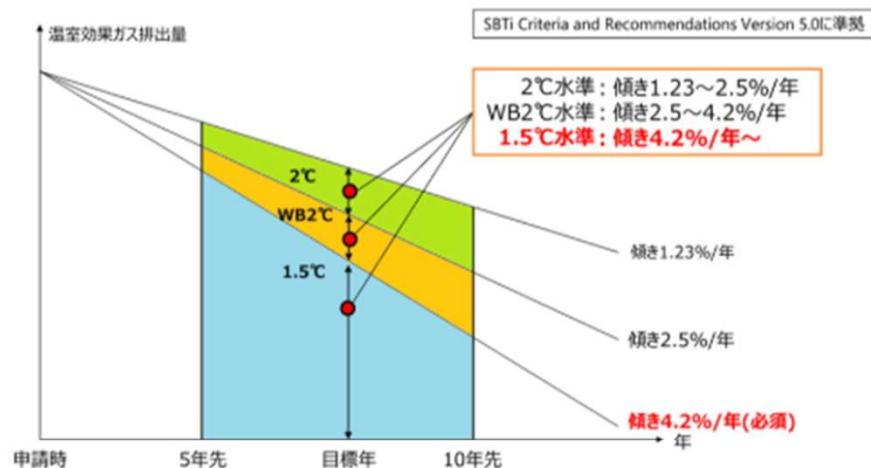
TOWA CO.,LTD. Japan, Asia	TARGETS SET	SME	View less ^				
<b>Organization type:</b> SME <b>Sector:</b> Electrical Equipment and Machinery <b>Company temperature alignment:</b> 1.5°C <b>Business Ambition for 1.5°C commitment:</b> X <b>Target language:</b> This target was approved using a streamlined target validation route exclusive to small and medium-sized enterprises (SMEs). <a href="https://sciencebasedtargets.org/tags-for-smes/">https://sciencebasedtargets.org/tags-for-smes/</a> TOWA CO.,LTD. commits to reduce scope 1 and scope 2 GHG emissions 42% by 2030 from a 2022 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.							
DOWNLOAD ALL DATA +							
TARGETS / COMMITMENTS							
ACTION	STATUS	TARGET	SCOPE	TARGET CLASSIFICATION	BASE YEAR	TARGET YEAR	DATE PUBLISHED
Target	-	Absolute	1+2	1.5°C	2022	2030	2024-10-24

## SCIENTIFIC BASIS

# 科学的根拠に基づく目標

SBTiが定める削減水準は科学的根拠に基づいており、温度目標ごとに必要な年間削減率が定められています。

### 科学的根拠に基づく目標



出典：環境省（SBTi Criteria and Recommendations Version 5.0準拠）

SBTiの削減基準は3つの温度水準に分かれており、それぞれ年間の必要削減率（傾き）が定められています。

#### 2°C水準

傾き 1.23~2.5%/年

#### WB2°C水準

傾き 2.5~4.2%/年

#### 当社の達成水準

#### 1.5°C水準

傾き 4.2%/年~（必須）

当社は最も厳しい1.5°C水準を達成する削減目標を設定。2030年までに年間平均4.2%以上の継続的なGHG削減を実施します。

PROCESS

## SBT認証の取り組みプロセス



01

### GHG排出量の算定

Scope1・Scope2の温室効果ガス排出量を環境省ガイドラインに準拠して算定します。



02

### 削減目標の設定

科学的根拠に基づき、パリ協定1.5°C目標と整合した削減目標を策定します。



03

### SBTiによる認定

Science Based Targets initiativeによる審査・認定を受け、国際的な認証を取得します。



04

### 情報開示と継続改善

認定後も年次で進捗を開示し、目標達成に向けた継続的な改善を実施します。

FAQ

## よくあるご質問

**Q** SBTとは何ですか？

**A** SBT（Science Based Targets）とは、パリ協定が求める水準と整合した企業の温室効果ガス削減目標です。科学的根拠に基づいており、「感覚的な努力目標」ではなく「数値で評価できる目標」が特徴です。

**Q** 中小企業版SBTはどう違いますか？

**A** 従来のSBT認証と比べ、中小企業向けに簡略化された申請プロセスが採用されています。Scope1+Scope2の排出量を対象に、より実情に合った形で科学的目標を設定できます。

**Q** なぜ認証を取得したのですか？

**A** 製造業として環境への責任を果たすため、また取引先や社会からの信頼に応えるために取得しました。感覚的な努力目標ではなく、科学的に評価される目標を掲げ「逃げない姿勢」を示すことが、当社の判断です。

# 情報開示

当社のSBT認証に基づくGHG削減目標、取り組み内容、およびステークホルダーへのメッセージを開示します。

## 目次

- 📍 認証取得のお知らせ
- 📍 **なぜ、SBTに取り組むのか**
- 📍 当社のGHG削減目標
- ✖ 具体的な取り組み内容
- 🌱 お客様・お取引先の皆さまへ
- 🏠 未来に向けて

## 📍 認証取得のお知らせ

当社は、2024年10月、SBT（Science Based Targets：科学的根拠に基づく温室効果ガス排出削減目標）中小企業版の認証を取得しました。

これは、当社が掲げる温室効果ガス削減目標が、パリ協定で示された「地球温暖化を1.5°C以内に抑える」国際目標と整合していると、Science Based Targets initiativeにより認められたことを意味します。

2030年までに、Scope1+Scope2のCO<sub>2</sub>排出量を2022年度比42%削減する目標のもと、科学的根拠に基づいた環境経営を推進しています。

## 目次

- 📍 認証取得のお知らせ
- 📍 **なぜ、SBTに取り組むのか**
- 📍 当社のGHG削減目標
- ✕ 具体的な取り組み内容
- 📍 お客様・お取引先の皆さまへ
- 📍 未来に向けて

## 📍 なぜ、SBTに取り組むのか

製造業は、社会を支える一方で、エネルギー使用やCO<sub>2</sub>排出と正面から向き合う責任があります。

当社はこれまで、品質・安全・環境を重視したものづくりを続けてきました。SBTへの取り組みは、その延長線上にあるものです。

**感覚的・努力目標ではなく、  
数値で把握し、科学的に評価される目標を掲げる  
企業として「逃げない姿勢」を明確にする**

それが、当社の選択です。

## 📄 当社のGHG削減目標

当社は、基準年を2022年度とし、以下の削減目標を設定しています。

### 🎯 2030年までの削減目標

# Scope1 + Scope2 排出量を 42%削減

(2022年度比)

SCOPE1

燃料使用などによる自社の直接排出

SCOPE2

電力・熱・蒸気使用に伴う間接排出

※算定・考え方は環境省ガイドラインに準拠しています。

## × 具体的な取り組み内容

当社では、以下のような活動を通じて「見える化 → 改善 → 継続」を実行しています。

📍 温室効果ガス排出量（GHG）の定期的な把握

🔌 エネルギー使用量の管理と効率化

♻️ 生産プロセスの見直しによるロス削減

👤 社員一人ひとりの環境意識向上

SBTは「取得して終わり」ではありません。  
行動し続けることこそが、最も重要だと考えています。

## 目次

- 📍 認証取得のお知らせ
- 📍 なぜ、SBTに取り組むのか
- 📍 当社のGHG削減目標
- ✕ 具体的な取り組み内容
- 📍 **お客様・お取引先の皆さまへ**
- 📍 未来に向けて

## 📍 お客様・お取引先の皆さまへ

環境への取り組みは、品質・安定供給・信頼性と切り離せない時代になりました。

当社はSBT認証取得企業として、以下をお約束します。



サプライチェーンの一員としての責任



持続可能な社会への貢献



長期的に信頼されるパートナーであり続けること

## 📍 未来に向けて

私たちは、

「環境に配慮している企業」ではなく、

「環境を前提に経営と技術を考える企業」でありたいと考えています。

これからも、科学的根拠に基づいた環境対応と、誠実な情報開示を通じて、社会とともに成長してまいります。

### 排出量データのグラフ

GHG排出量・エネルギー使用量などのデータを可視化してご覧いただけます。

[グラフを見る](#) →

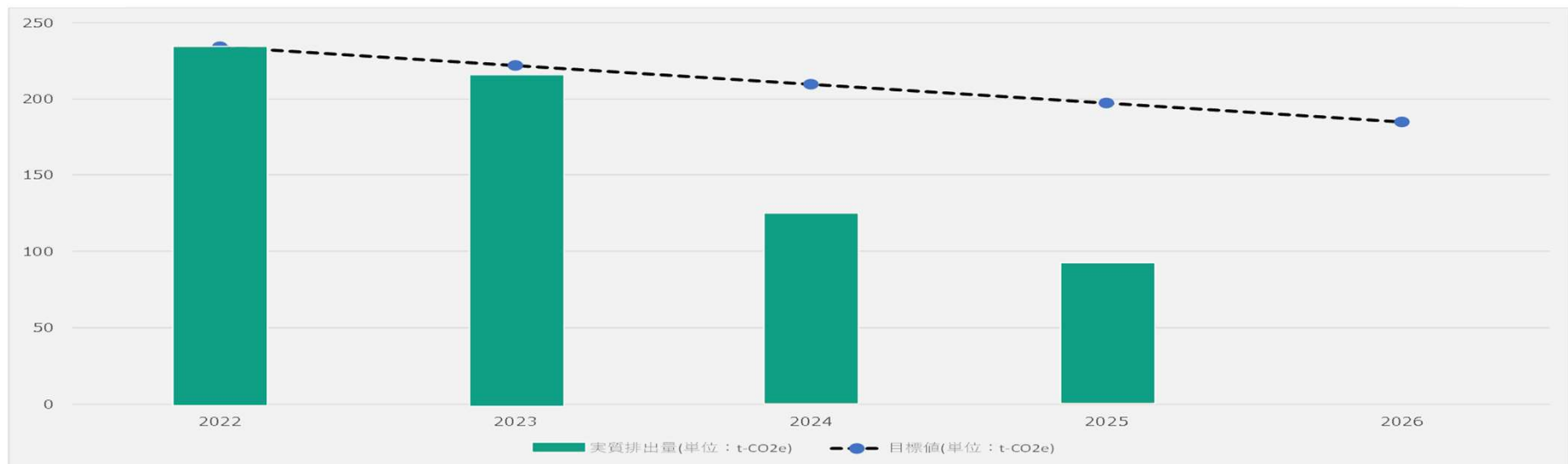
|| Data Visualization

# グラフギャラリー

当社のGHG排出量・エネルギー使用量などの実績データをグラフで可視化しています。  
※数値はサンプルデータです。実際のデータに順次更新予定。

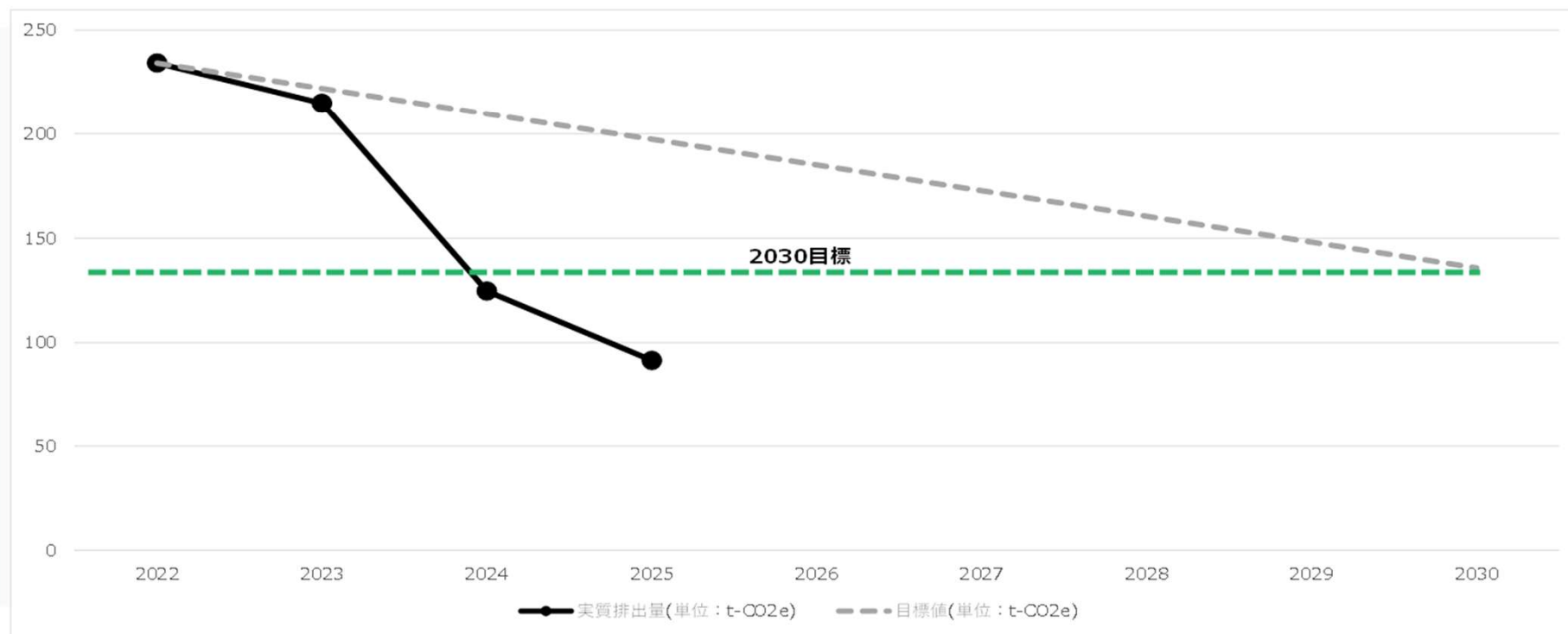
## GHG排出量 (Scope1+Scope2)

基準年2022年度比、2030年目標42%削減



## 総排出量の推移と削減目標ライン

実績と目標軌道の比較 (t-CO<sub>2</sub>)





科学的根拠に基づき、  
未来に責任を持つものづくりへ。  
SBT中小企業版認証取得企業

 SBT認証取得済（2024年10月）

[サイトマップ](#)

[ホーム](#)

[SBT認証](#)

[情報開示](#)

[グラフギャラリー](#)

[お問い合わせ](#)

[お問い合わせ](#)

 [towa-rep@sea.plala.or.jp](mailto:towa-rep@sea.plala.or.jp)

 048-982-7864

 〒342-0043  
埼玉県吉川市小松川543